鹿角高等学校魅力化推進事業
進路に関する中学生アンケート
結果報告書
【概　要　版】

令和８年９月

鹿角市教育委員会

目次

調査の概要 1
1. 調査の目的 1
2. 調査対象 1
3. 調査期間・調査方法 1
4. 回答状況 1
5. 集計・分析上の留意点 1
調査結果のまとめ 2
1. 調査結果の要点 2
2. 中学生の意向と課題 6
3. 鹿角高校魅力化に向けた 5 つの検討課題 6

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、鹿角市内の中学生を対象に、高校選択において重視する事項、高校生活において大切にしたいこと、進学先に関する意向等を把握し、今後の鹿角高校魅力化ビジョン策定及びワークショップ等における議論の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査対象

市立4中学校（花輪、十和田、八幡平、尾去沢）に在籍する全生徒（577 人）

※本文中で「中学生」と表記する場合は、特に断りがない限り、市内中学生を指すものとします。

3. 調査期間・調査方法

調査期間：令和 8 年 5 月 22 日（金）から 6 月 22 日（月）

調査方法：無記名によるオンラインフォームへの回答

市内市立中学校 4 校に対し、学級活動の時間等での実施を依頼

4. 回答状況

回答率：83.4%

（回答数＝481 件/市内市立中学校生徒数 577 人）

※全生徒数は令和 8 年 6 月 1 日現在

5. 集計・分析上の留意点

本調査の回答率は 83.4%であり、市内の中学生の意向や課題を把握する基礎資料として活用可能な回答数が得られたと考えられます。

なお、各設問の割合は、当該設問の有効回答数を分母として算出しました。

調査結果のまとめ

1. 調査結果の要点

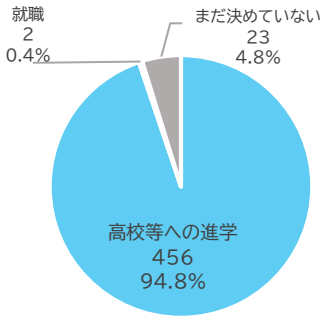
(1)市内の中学生 577 人のうち 481 人から回答を得ました。回答率は 83.4%でした。

(2)中学卒業後の進路希望は 94.8%が「高校等への進学」と回答しており、中学生の進路希望は進学が中心といえます。

設問3 (n=481)

「あなたは、中学校を卒業した後について、現時点でどのような進路を希望していますか」

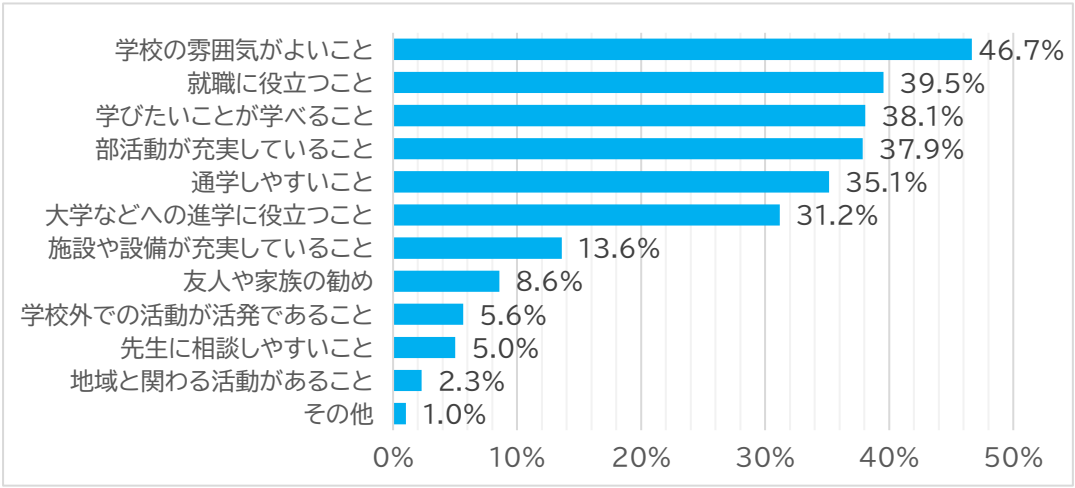
※「高校等」とは高等学校、高等専門学校、高等部をおく特別支援学校等を含みます。



(3)中学生が高校選択で重視することでは「学校の雰囲気がよいこと」が最も多く、次いで「就職に役立つこと」、「学びたいことが学べること」、「部活動が充実していること」が上位となりました。

設問4 (n=478)

「あなたが高校を選ぶとしたとき、特に重視することは何ですか。最大3つまで選んでください」



※設問3で「高校等への進学」もしくは「まだ決めていない」と回答した 479 人のうち未回答 1 人を除く、478 人が対象

※複数回答制であるため、選択率の合計は 100%を超える

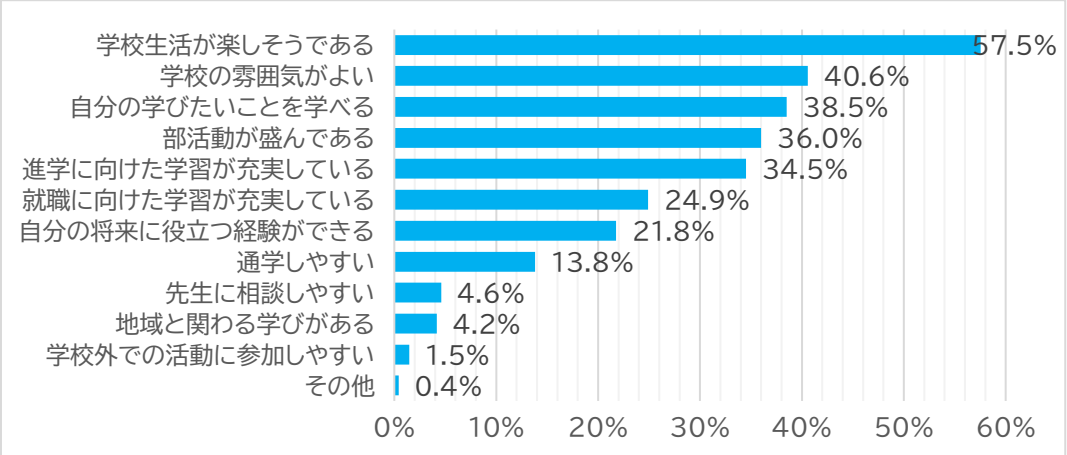
※その他回答の内訳

①友達が行くところ②医療、福祉、介護について学べるところ③都会に高校があること、高校の登下校時に楽しめるかどうか、子供に対しての娯楽施設、ショッピングモールなどが近くにあり、簡単に行けるか④友達や他校との関わり⑤いとこが行っているから

(4)中学生が考える魅力ある高校については、「学校生活が楽しそうである」が突出しており、次いで「学校の雰囲気がよい」、「自分の学びたいことを学べる」、「部活動が盛んである」、「進学に向けた学習が充実している」が上位でした。

設問5　(n=478)

「あなたは、魅力のある高校とは、どのような高校だと思いますか。最大3つまで選んでください」



※設問3で「高校等への進学」もしくは「まだ決めていない」と回答した 479 人のうち、未回答 1 人を除く 478 人が対象

※複数回答制であるため、選択率の合計は 100%を超える

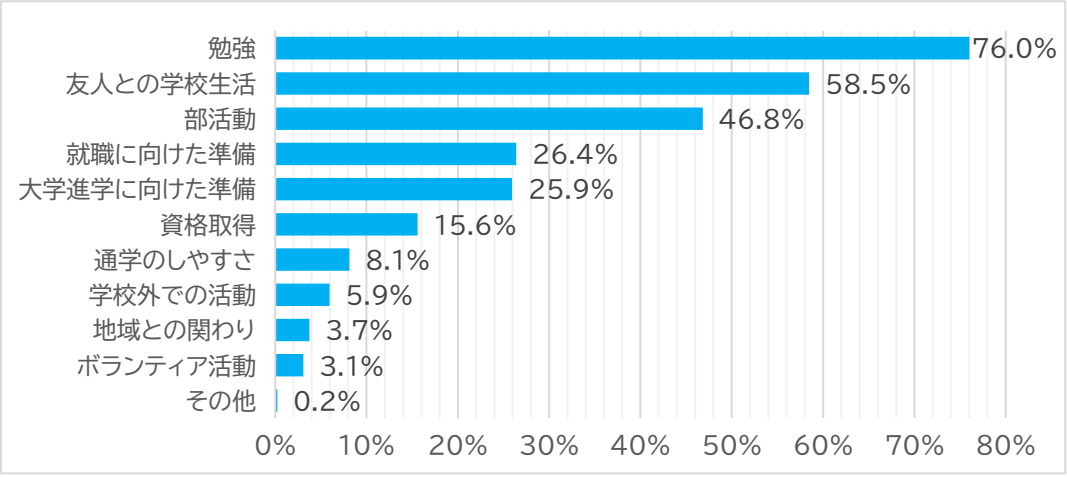
※その他回答の内訳

①都会にあり高校にいるときや登下校時、放課後でも楽しく過ごせるかどうか。②校則がある程度自由

(5)中学生が高校生活で大切にしたいことは「勉強」が突出して多く、次いで「友人との学校生活」、「部活動」が上位でした。また、「就職に向けた準備」や「大学進学に向けた準備」も一定数ありました。

設問6　(n=455)

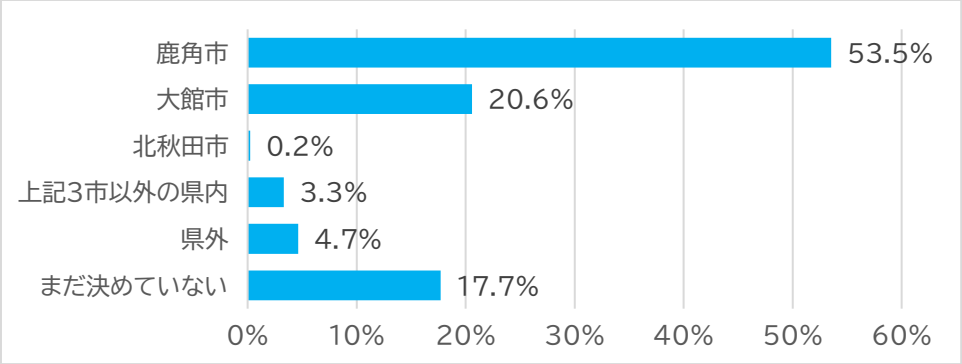
「あなたは、高校生活においてどのようなことを大切にしたいですか。最大3つまで選んでください」



※設問3で「高校等への進学」を選択した 456 人のうち未回答 1 人を除く 455 人が対象
※複数回答制であるため、選択率の合計は 100%を超える
※その他回答の内訳　①遊び

(6)進学を希望する高校の所在地域は、「鹿角市」が 53.5%と過半数で最も多く、地元志向の中学生が多いことがわかりました。一方で、「大館市」など、市外を希望する層も 28.8%で約 3 割を占めました。また、「まだ決めていない」という未定層も17. 7%と一定数います。

設問 7　(n=452)
「進学を希望する高校等の場所について、現時点で第一志望として考えている高校等がある場所を1つだけ選んでください」



※設問3で「高校等への進学」と回答した 456 人のうち、未回答 4 人を除く 452 人が対象

(7)進学を希望する高校の種類については「公立」が 60.6%と 6 割を占めましたが、「まだ決めていない」も 30.3%と一定数いました。
　また、希望する学科については「普通科」が 62.1%で最も多い結果でしたが、28.4%は「まだ決めていない」という状況でした。

(8)就職を希望する中学生は 2 人とごく少数で、かつ、就職を希望する場所や理由については決めかねている状況でした。

(9)進路をまだ決めていない層は 4.8%と全体の1割に満たないものの一定数おり、「将来やりたいことがまだわからない」や「行きたい学校が決まっていない」という理由が上位でした。

（10）自由記述意見については 45 件の回答がありました。一つの意見に複数の内容が含まれる場合があるため、それぞれ内容を確認し、記述内容に応じて分類した結果、「進路選択・学力・受験」に関する記述が 20 件と最も多くみられました。

設問 13 （回答件数＝45 件）

「進路や高校選びについて、不安なことやわからないことがあれば自由に書いてください」

分類	延べ件数
進路選択・学力・受験	20
学校の特色・学び・情報	12
学校生活・雰囲気・人間関係	9
通学・交通手段	3
家庭事情・費用・一人暮らし	2
部活動・課外活動	1
学校のルール・支援体制	1

※自由記述 45 件を内容別に分類したものであり、1 件の回答を複数分類している場合があります。

※意見には不安、期待、要望、提案、受け止めなどを含みます。

（11）クロス集計による補足分析では、各学年で共通する傾向がある一方、一部の項目には学年間の違いがみられました。上級学年ほど進学希望地域について「まだ決めていない」とする割合が低い傾向がみられました。また、進学希望地域別にみると、鹿角市希望層では通学のしやすさや学校生活の充実が重視される一方、大館市希望層では進学に向けた学習の充実が重視されるなど、希望地域によって重視する点に一定の違いがみられました。

○進学希望地域別にみた高校選びで重視すること

選択肢	全体（n=452）		鹿角市（n=242）		大館市（n=93）		まだ決めていない（n=80）	
	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位
学校の雰囲気がよいこと	46.5%	1 位	44.6%	2 位	41.9%	3 位	60.0%	1 位
就職に役立つこと	39.8%	2 位	40.5%	4 位	45.2%	2 位	35.0%	4 位
学びたいことが学べること	38.5%	3 位	31.8%	5 位	41.9%	3 位	56.3%	2 位
部活動が充実していること	38.3%	4 位	40.9%	3 位	21.5%	5 位	40.0%	3 位
通学しやすいこと	34.5%	5 位	49.2%	1 位	21.5%	5 位	15.0%	6 位
大学などへの進学に役立つこと	32.3%	6 位	18.2%	6 位	65.6%	1 位	35.0%	4 位

※設問 7 に回答した 452 人を対象に、設問 4「高校選びで重視すること」の回答を進学希望地域別に集計したもの

※「北秋田市 n=1」「上記 3 市以外の県内（n=15）」、「県外（n=21）」は回答者数が少ないため、この概要版では掲載を省略しています。ただし、表の「全体（n=452）」には含まれます。

2. 中学生の意向と課題

(1)中学生が高校選択において重視しているのは、学校の雰囲気や学校生活の楽しさといった日常の学校生活に関わる要素に加え、学びたいことが学べること、進学や就職に役立つことなど、将来の進路につながる学びの内容などと言えます。

(2)高校生活において大切にしたいことは、「勉強」が最も重視されており、友人との学校生活や部活動とあわせて、学業を中心としながら充実した学校生活を送りたいという意向がうかがえます。

(3)進学先の所在地については鹿角市を希望する中学生が最も多い一方で、市外の高校を希望する層や、進学先の種類・学科をまだ決めていない層も一定数存在しています。なお、進学希望地域別にみると高校に求める条件には違いがみられており、地元の高校として選ばれるためには、他地域の高校と比較した際の特色や強みを明確に示していくことが検討課題として考えられます。

(4)進路未定層の割合は大きくはないものの一定数存在しており、将来の方向性や進学先の選択を具体化できていない中学生もみられます。また、1 年生では進学希望地域を「まだ決めていない」とする割合が 2・3 年生より高く、早い段階から進路選択を支える分かりやすい情報提供や相談の機会を設けることが重要と考えられます。

3. 鹿角高校魅力化に向けた 5 つの検討課題

(1)鹿角高校の魅力化に向けて、以下の課題に取り組む必要があるといえます。

①学校の雰囲気や学校生活の魅力が中学生に伝わる情報発信の充実

②学びの特色と進路とのつながりが分かる教育内容の見える化

③学業を中心とした学習環境や進路支援体制の充実

④地元進学志向を踏まえた魅力向上と鹿角高校ならではの特色の明確化

⑤進路・進学先に関する未決定層にも届く分かりやすい情報提供の強化

(2)今後、鹿角高等学校魅力化ビジョン検討委員会やワークショップ等を通じ、具体的な取組の方向性について検討を進めます。

※詳しい集計結果、クロス集計、設問一覧及び自由記述意見については、「進路に関する中学生アンケート結果報告書」をご覧ください。